

2010年9月10日

鹿児島県知事
伊藤 祐一郎殿

日本共産党鹿児島県委員会
委員長 野元 徳英
日本共産党県議団
代表 まつざき真琴

霧島演習場での日米共同訓練に反対するよう求める申し入れ

湧水町とえびの市にまたがる陸上自衛隊霧島演習場で、在沖縄海兵隊と陸上自衛隊による日米共同訓練が行われることが明らかになりました。日米両政府は5月28日、普天間基地の名護・辺野古崎への移設と徳之島や全国各地への海兵隊の訓練移転などの日米合意をおこない、防衛省はこの日米共同発表文書と閣議決定を、基地をかかえる全国300自治体に送付したとされており、今回の共同訓練はその一環であると思われま

す。こうしたもとでいま海兵隊普天間基地問題が政治の重大な焦点となり、沖縄をはじめ全国で、普天間基地の無条件撤去、新基地建設反対、徳之島など全国への訓練移転を阻止する運動が広がっています。

ご承知のように海兵隊は海外の戦争に真っ先に出動する“なぐりこみ部隊”であり、日本の平和と安全のための「抑止力」などでは決してありません。「侵略力」そのものです。これまで沖縄の負担「軽減」を口実に全国各地に訓練移転が行われてきましたが、実際には負担は「軽減」されていません。2006年5月の在日米軍再編合意で、「負担軽減」のためとしてF15戦闘機の本土への訓練移転がなされた嘉手納基地でも、それまでをはるかに上回る外来機が飛来し、騒音被害は増加しています。まさに訓練移転は、全国への基地拡大につながっています。海兵隊との共同訓練は、県民の生命と安全をおびやかすものであり決して容認できるものではありません。

については貴職が霧島演習場での日米共同訓練に反対され、湧水町民はじめ県民の平和と安全に貢献されますこと、政府に対しても反対の意思を表明していただくよう、ここに申し入れます。

以 上